



H29. 10. 10 (火)

「 なでしこの日♪ 」

ようやく秋らしい心地よい気候となってきました。保育室でも、体育マットやすべり台で全身を使って遊んでいます。やはり戸外の空気は気持ちがいいようで、園庭に出ると喜んでいきます。

また、子どもと保育士2人でお散歩に出かける“なでしこの日”も始まりました。子どもたちが見る物、触る物、興味を持つ物がそれぞれ違って“〇〇ちゃん、〇〇くんはこれが好きなんだなあ”と新たな発見もあります。出発前の表情と帰園したときの表情が違います。園に帰り着いたときの満たされた表情を見ると私たちもうれしくなります。



「 ふれあいあそび大好き 」

先日は保育参観に参加してくださりありがとうございました。

保育参観で一緒に遊んだ“にゅうめん”というわらべうた遊びをご紹介します。

- ☆ にゅうめん そうめん ひやそうめん →腕の内側を上から下に4回こする
- ☆ かぎがらちょうの →手の平をくすぐる
- ☆ ぶたやの →手の平をたたく
- ☆ つねこさんが →手の甲をつねる
- ☆ ちんぴちんぴちんぴちんぴ →腕の内側をしたから上に向かって4回つまむ
- ☆ 大根おろし 大根おろし 大根おろし →げんこつで腕を上に向けて3回こする
- ☆ 店で食べますか？奥で食べますか？ →こちょこちょとくすぐる



「 お片づけできたかな?? 」

以前はお片づけはまだ難しく、保育士が片付けているのをじっと見ていた子どもたち。最近は保育士が片付け始めると月齢の高い子どもたちがおもちゃを持ってきてかごの中へ入れるようになりました。しかし、かごに片付けたおもちゃを月齢の低い子どもたちが出しているため、なかなか片付けが終わりません。それを見て月齢の高い子どもがまた片づけるのですが、その様子がとてもほほえましく感じながら見守っています。また月齢の低い子どもたちも友だちや保育士のしている様子を見て片付けるという事を何となく体験し、自分の生活の中に取り入れるという育ちにつながるのだと思い、大切にしています。



第7号

すみれぐみだよ!

平成29年10月10日(火)

日中は暖かさが残っていますが、朝晩は少し肌寒くなってきたように感じます。部屋に拾って飾ったどんぐりも緑色から茶色にかわり、「もう秋がきたんだな」と感じさせられる瞬間です。

○ なでしこの日 ○

なでしこの日は、保育士と子どもの2人でお散歩に行きます。お散歩に行く前は「どこにいくんだろう」と言った表情の子どもたち。車が好きな子どもは大道りまで車を見に行き、滑り台が好きな子どもは公園に行ったりとその子どもの興味を持っていることや好きな遊びができるように計画しています。保育士と2人でおやつを食べたり、お話をしたりして心からの交流と関わりを大切に過ごしています。散歩に行った後の表情は、又ひと味違った表情を見せてくれます。

園外に出ることが多くなります。登園の際は靴を履かせて下さい。



「保育参観」

お忙しい中、保育参観に参加していただきありがとうございました。いつもと違う環境に泣いてしまう子どもたちや、笑顔で楽しそうに遊ぶ子どもたちと様々な姿が見られました。保護者の方から「子どもたちがどのように過ごしているか見ることが出来てよかったです」との声が聞かれ、私たちも安心いたしています。これからもご両親と一緒に子どもたちの成長を支えていけたらと思います。

～おったよ～

園庭にでると畑や花壇で「だんごむしおるかな」「ありさーん」と虫探しをしています。だれか一人がみつけると「おったよ～」と友だちに伝えています。「おったよ」の声に反応し走ってみんなで虫を見に行く子どもたち。触らずにそっと観察しています。

衣替え

日中と朝晩の気温の差が激しいので、衣服を調節できるようにロッカーの中に着替えの準備をお願いいたします。

ちゅうりっぷだより

平成29年10月10日(火)

日中はまだ暖かさが残っていますが、朝晩には肌寒ささえ感じるようになりました。木々の葉も色づき始め、季節の移り変わりが、目でも感じられる今日この頃です。秋と言えば「食欲の秋」。よく食べ元気いっぱいな子ども達です。

～生き物大好き～

園庭に出ると以前までは、バッタやセミなどを見るだけで怖がる子ども達でした。男の子は、触っていましたが、9月ごろになると、友だちと、バッタやありなどを観察するようになり、触れなかった子どもたちが、おそろおそろ、虫に触れられるようになりました。

今では、バッタやトンボなどを見つけると、「みんなバッタ見つけたよ」と聞くとみんなで追いかけている姿がよく見られます。

～先生とお散歩～

1歳児までは、保育士と2人で、お散歩に行っていました。ちゅうりっぷ組になると、友だちと一緒に遊ぶ事が増えてきているため、2つのグループにわけて、撫子の日として楽しんでいこうと思っています。

公園に行くまでの道を二人一組になり、手をつないでいると、ペアになった友だちと、「うれしいね」など、友だちと一緒に遊ぶことへの喜びが伝わってきます。

公園に着くと友だち、ブランコで、おしゃべりをしたり、すべり台では、二人で一緒に滑ってみたりしていました。



衣替え



この時期、日中と朝晩の気温差が激しいので、衣服で調整できるように、着替えの準備を宜しくお願いします。

保育園でもこどもたちの体調の小さな変化に気づき対応していきたいと思います。

ちゅうりっぷ組 井上、桑原、唐木





平成 29.10.10 (火)

元気の日スタート！ ～季節の移り変わりを感じながら～

9月29日きれいな青い空が広がり、園庭にできた子どもたちの、3つのグループの輪からは、勢いよく子どもたちの元気なかけ声から、元気の日がスタートしました。金毘羅山では、虫博士と言われている地域の方から声をかけていただきました。大きな蛾や蜘蛛、バッタ、ナナフシなど多くの秋の虫を見ることができ、歩く足を止め耳を澄ますと「チリリリリ…」と鳴く声が聞こえました。虫の声に合わせて子どもたちから、『あれまつむしが ないている』と「虫の声」の歌が始まりました。帰り道では、金毘羅池の亀や鳥に「また来るね」と声をかけていました。

雲の動きを見ながら「先生見て！雲と一緒にきてきてるよ！」「雲さんふたば保育園知ってるかな？」と話しながら「今度はお弁当もって皿倉山行こうね」と皿倉登山に向けて子どもたちはやる気満々のようです。



友だちとわくわくするような遊びを楽しめるように

遊びを通して友だちとのかかわりも増え、様々なことに興味・関心を示し行動範囲も広がっています。散歩で見つけた自然物を利用しながら、空き箱、空き容器などを利用した製作やごっこ遊びをしています。

絵本で楽しかった場面をみんなで話し、自分の言葉で伝えることができる楽しさや、経験を重ねて、自分の気持ちを表現することを、友だちと一緒に楽しんでいます。

野菜の色は・・・

ある日、給食にニンジンがありました。

「あ、ニンジンが赤いのはお風呂にずっと入っていたからよね」と言うと、「ニンジンさんはお風呂が好きなんだよね」と話していました。そして、ごちそうさまをして部屋に戻ると、子どもたちは話の続きで、「だいこんさんは、ゴシゴシ体を洗ったから白くて、ゴボウさんはお風呂が嫌いなんだよね」と話しているのを聞いて、「ニンジンさんが赤いわけ」のお話を覚えていたんだと思いました。すると「ピーマンはどうして緑なの？」という言葉に、しばらく子どもたちは考えていました。お話のなかにピーマンは出てなかったので私は興味深く聞いていると、「ピーマンは苦いから緑色で、病気をやっつけるから緑なんじゃない」と言ったことに驚きました。経験を通して想像を物語にする豊かな感性が育ってほしいなと思いました。

こすもす組担任：崎野・河内

ひまわりだより



H29.10.10(火)

「次は、皿倉登山だ」

先月の29日(金)から秋の体育まつりがはじまりました。体育まつりの初日は金比羅登山でした。登山当日、異年齢で3つのグループに分かれて、肩を組んだり、手を伸ばして「金比羅山まで、登るぞーエイエイオー」等の掛け声で山まで歩き始めました。ひまわり組の子どもたちは、山までの道のりを、こすもす組と手を繋ぎ、「僕たち(私たち)の方がお兄ちゃん、お姉ちゃんだから守ってあげない」「あと少しだよ、一緒に頑張ろうね」と励ましたり、手を握り、危険がないようにしっかりと守っていました。階段を登り始めると、「もうちょっとで、頂上だから頑張ろう」と友たち同士で励ましあう様子も見られました。お互いに助け合う優しい心や、自分たちの力でやり遂げる強い心の育ちも感じました。

金比羅神社の神様に、思いをこめて作ったお守りを供え、「パワーを下さい」とお願いしました。パワーを貰って目をキラキラ輝かせて喜んでいました。「次は、皿倉だね」とお守りをつけてみんなでがんばります。



「秋の保育参観」

秋の保育参観では、たくさんのご参加ありがとうございました。子どもたちは、保護者の皆さんに見てもらえて褒められたことが嬉しかったようで自信がついたのか、「今度は、縄跳びいっぱい頑張る」等、話をしていました。



☆乾布摩擦とマラソン☆

10月に入り、強いからだと心をつくるため、乾布摩擦とマラソンをします。体調の悪い日は、連絡帳や、登園時に保育士にお知らせ下さい。乾布摩擦用のタオルと名前の記入も宜しくお願い致します。





発行：平成29年10月10日（火）

子どもたちは、朝夕の涼しい秋風を感じ、園庭の木々の変化に気付いたり、虫たちの声に耳を傾けたりと身近に秋を感じています。ふたば体育まつりも始まり園庭に“エイエイオー！”と元気な声が響きました。登山やマラソンと経験を重ね、さらにたくましく実り、成長していく子どもたちの姿が楽しみです。



パワー全開！

先月29日に金比羅登山をしました。登山中、木の実や落ち葉、木々の揺れる音に耳を澄ませ、友だちと秋の実りを感じながら話し合う子どもたちは、お話をしたりとパワー全開です。頂上へと続く階段で保育士より先に進んでしまう活発さでした。

子どもたちは、頂上に着くと金比羅神社の神様に、皿倉登山に向けてより力が湧くように、それぞれが思いを込めてつくったお守りを神社に供えて“続いて皿倉登山とマラソン大会があります。みんなに神様のパワーを分けてください”とお願いをしていました。神様から力を頂いた子どもたちは、さらにパワー全開で「何だか力が湧いてきた！」「次は皿倉登山だね！」と景色を眺めながら意気込んでいました。保育園までの帰り道でも、疲れを見せず秋探しに夢中のたんぽぽぐみ。不思議な木の実や葉を見つけると「保育園で調べてみよう」と秋の自然に興味津々でした。また、「こすもすさんひまわりさん大丈夫かな」「今どこら辺歩いてるかな」と年下の友だちのことも気にかけて、年少・年中児の姿が見えると「よかった！みんな大丈夫だった？」「疲れてない？頑張ったね」と幼い相手を気遣う温かい心の成長も感じられました。

また、踊りたいな

先日の敬老会では、地域のお年寄りの方々に、たくさんのお褒めの言葉を頂きました。地域の方々やお家の方々に踊りを見ていただき、「上手だったって褒めてくれたよ」「おじいちゃんたち喜んでくれてたね」「私たちの元気届いたかな？」とみんな喜びでいっぱいでした。

この経験を通して、さらに子どもたちの自信へと繋がったようです。

